

伊平屋村

校務 DX 計画

「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」において、本村の主な課題としては、一部に押印・署名によって確認する慣習や書類が依然として残っている。

1. 教職員が提出する一部書類の、クラウドツールを活用しペーパーレス化、デジタル化すること

本村では学校全職員に個人アドレスが付与されており、情報共有や連絡等に Microsoft・Google とミライムなどクラウドツールが活用できる環境にある。教育委員会と学校間の連絡等はクラウドツール利用をしているが、一部研修資料や提出資料が印刷物で求めているケースが散見される。今後クラウドツールの活用を推進する。

2. 学校から保護者へ発信するお便り・配布物等をクラウドサービスにて一斉配信すること

本村では、保護者へのお便り・出欠確認等クラウドサービスを利用して周知または、提出する事推進している。

クラウドツールを使用することにより、児童生徒が保護者へ印刷物の渡し忘れで起こる連絡漏れや印刷物のコスト削減も期待できる。また、欠席届などクラウドツールで行うことで教職員の手間も削減出来ると考えることから引き続き推進する。